

静岡産業技術専門学校

令和元年度

学校自己評価・学校関係者評価 評価報告書

1. 教育理念・教育目標

教育理念

社会に自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、地域社会に貢献する。

教育目標

学校教育法に基づき、工業分野における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業分野における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や社会人の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

2. 令和元年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

経営重点施策（骨子）

- ・令和2年度入学生募集実員数 215 名を確保する
- ・学んだことに関連する職種への就職率（専門職内定率）を向上させる
- ・働き方改革による学校の質向上の達成
- ・学生満足度を高め、学生の学校評価を高める。退学率は4%以下とする

活動・運営に関する目標や計画の項目

<教務>

- ・インターンシップの積極的活用
- ・シラバスの整備と活用

<就職支援>

- ・就職内定率100%の維持
- ・教務との連携強化
- ・各科ごとにOBOGセミナーを開催
- ・就活ゼミ体制の改善

<広報活動>

- ・令和2年度入学生募集実員数 215 名を確保する。
- ・女子学生の入学者数50名以上を確保する。
- ・1, 2年生向けの募集活動を充実させる。

<総務>

- ・窓口として、高感度アップにつながる対応の維持・向上
- ・快適で清潔な教育空間の維持と向上

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価方法： 4（適切）→ 3（ほぼ適切）→ 2（やや不適切）→ 1（不適切）

（1）教育理念・目標

評価

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
学校自己評価 平均		4.0
<p><u>成果と課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生に教育理念・目標を周知徹底するため、当該情報を掲載した学生便覧を配布している。入学時のガイダンスでは必ず説明をしている。 ・職業教育の特色は学校案内パンフレットに掲載されている。 ・学校の将来構想については、法人内専門学校6校の中期計画として計画され、実行されている。 ・学校及び学科ごとの育成人材像については、オープンキャンパス、学校見学会等で説明を実施している。また学生に対しては入学直後のガイダンス、保護者に対しては後援会総会・授業見学会を通して行われている。 ・各学科の教育目標、育成人材像の業界ニーズを把握するため、教育課程編成委員会を年2回開催し外部意見の反映に努めている。 		
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して紙媒体、ホームページ掲載などを通して、学校からの情報発信を継続実施する。また、常に最新情報となるよう内部体制強化を図る。 		
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校案内及びホームページにてしっかり説明されていると思います。 ・最新の情報の発信においては、ホームページ内の「ニュース」欄に記載を常にしていくことと、訴求対象者ごと設定をされることをお勧めします。 		
学校関係者評価 平均		4.0

（2）教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	3
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系	4

	的に位置づけられているか	
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
学校自己評価 平均		3.8
<u>成果と課題</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・年度末においてすべての科目のシラバスは作成されたが、配布されたか否かを確認できていない。 ・デザイン系学科を中心に、実習のテーマとして外部の企業・団体様より作品制作のテーマを頂き、企画から制作、プレゼンテーション、納品までを実習し、またCADデザイン科においては卒業研究における研究テーマを企業様から頂き研究・発表を行うなど、より実践的な授業を展開した。 ・こども保育科以外は「職業実践専門課程」の認定学科（こども保育科は完成年度を迎えていないため対象外）となり、該当する関連分野の企業・団体様との連携を深め、教育課程編成委員会を開催し外部委員からの意見やアイデア、最新の業界動向等を教育カリキュラムの改善に活かす取り組みを実施している。 ・本年度もキャリア教育への取り組みとして、入学時からキャリアカウンセラーや、ビジネスマナー講師など外部講師を定期的に招き、年間を通してキャリア教育への取り組みを実施した。 ・授業の点検評価は、学生アンケートを実施し状況を把握し対応しているが、フィードバックの不足等十分な活用がなされているとは言えない。 ・全学科の全教員が「関連分野における先端的な知識・技能等を修得」「教員の指導力育成」など教員の資質向上を目的とした研修に参加した。 		
<u>今後の改善方策</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスについてはホームページ上に掲載し、誰でも閲覧可能な公開情報とする（準備中）。 ・授業評価について収集された情報を、フィードバック・反映する仕組みを定型化する。 ・こども保育科について、教育課程編成委員会を設置する。 		
<u>学校関係者 評価コメント</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・学生へのアンケートを行う場合は、全て叶うということではなく、アンケート結果を学生にしっかりフィードバックすることが大切だと感じます。 ・シラバスは、学生が閲覧出来て、目標を明確に達成するために必要であるので、配布すべきかどうかの手法は関係なく、学生に明示してほしい。 ・外部との連携も多く、精力的に活動していることが伺えます。今後ともご指導よろしく申し上げます。 ・到達レベルや学習時間の確保が明確になっているか、少しわかりにくいところもあるのではないかと感じました。 		
学校関係者評価 平均		3.8

(3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	4
3-2	資格取得率の向上が図られているか	4
3-3	退学率の低減が図られているか	4
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
学校自己評価 平均		3.8
<u>成果と課題</u> <ul style="list-style-type: none"> ・就職内定率以上に、専門職内定率（履修した分野に関わる企業等への内定割合）を向上させることに重点を置いた学科の運営や就職指導を行い、学校全体として97.3%の専門職内定率を達成することができた。 ・資格取得に関しては、例年の実績相当の資格取得実績をあげることができた。 ・退学率は3.2%（目標4%以内、昨年度実績6.8%）となり、目標を達成することができた。 		
<u>今後の改善方策</u> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の社会的な活躍、就職後の定着状況を調査するなど把握のための施策を講じる。 		
<u>学校関係者 評価コメント</u> <ul style="list-style-type: none"> ・専門職内定率の向上が非常に重要だと思います。97.3%は大変すばらしいと感じます。 ・退学率の3.2%の目標達成とのことですが、今後この状況下で経済的な問題から退学者が増加する可能性もあり、そちらの対策は急務と感じます。 ・同窓会との更なる連携を望む。 ・特に専門職内定率の高さが素晴らしいです。 		
学校関係者評価 平均		3.8

(4) 学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
4-5	保護者と適切に連携しているか	4
4-6	卒業生への支援体制はあるか	4
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
4-8	新たな求人開拓の努力はしているか	4
4-9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学校自己評価 平均		3.9
<u>成果と課題</u> <ul style="list-style-type: none"> ・就職支援体制は、学生1人に対して就職担当、担任、就職ゼミ担当の3者体制により実施されている。このことにより就職活動に必要な基本的就職活動リテラシーの指導・サポート体制と、専門職内定率を向上させるための学 		

<p>科・クラス担当からの学生への情報提供・サポート体制を明確化し、内定率、専門職内定率ともに高いレベルでの維持に成功している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生相談窓口として、クラス担任による対応、専門カウンセラーによる相談を毎週1回開設している。 ・学生・保護者の経済的負担を軽減する措置として、本校同窓会協力のもと、在学中に限ったノートパソコン貸与制度を継続実施している。 ・総務部門に学生支援機構の奨学金制度や官民の教育ローン制度、学校法人静岡理工科大学グループで企画した学費サポートプラン等の学生・保護者に対するサポート職員を配置し、随時相談受付を行っている。 ・保護者会組織である後援会が組織されており、学校に事務局を設置している。また学生の状況については、必要に応じて保護者との情報共有に努めている。 ・卒業生を会員とした同窓会が組織され、学校に事務局を設置している。退職者については、就職相談室にて相談及び中途採用情報などを提供している。 ・就職担当を専任で配置し、求人開拓を含む就職支援統括を学校として行っている。 ・学校行事・イベントは、全校規模で春期にボウリング大会、バス旅行（東京ディズニーランド等）、秋期にスポーツフェスティバルを実施。また各科ごとに教育上必要な施設見学や展示会见学、ハイキング等を奨励・実施し、人格醸成に努めている。また学校後援会組織からの支援を、年間を通し実施している。
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の健康管理について、保健室は設置しているが常任の学校医がいないため、専門的知見によるアドバイス等は行われていない。カウンセリングにおいても利用機会が限られているため、今後については、精神面のケアを含め、学生の健康管理システムの改善を図る。
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動も今後大変厳しくなることが予想されます。大手企業の7割は前年とほぼ同じ予定とありましたが、県内中小企業においては、完全に売り手市場ではなくなると思われ、そちらのケアと対策が大変重要になってくると思われます。 ・求人企業については景気の良し悪しによることが大きく感じられ、今までの採用実績などは、あまり関係ないかたちになってしまっています。
<p>学校関係者評価 平均 3.8</p>

(5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	4
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか。	4
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	4
5-5	防災に対する体制は整備されているか	4
<p>学校自己評価 平均</p>		4.0
<p><u>成果と課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義室及び実習室は、実習に必要な室数、面積、パソコン台数や実習機器が確保され、ソフトウェアについても定 		

<p>期的にバージョンアップが行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義室及び実習室は学生の自習室として休み時間や放課後、長期休暇期間に開放している。図書については各科で必要図書を購入して教室や実習室に配備し、学生が適宜閲覧できるよう整備している。 ・CG 技術科で使用している実習用パソコンについて、タッチペン対応ディスプレイを導入するとともに、最新のCG 技術に対応できるパソコンに更新した。 ・各講義室及び実習室における地震、火災等における避難経路は設定されており、年1回の防災訓練において避難経路確認を行い学生に周知している。
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク実習室にパソコンについて、ネットワークの不具合やスペック不足により授業の一部に支障がきたしているため、リプレースを実施する。併せて、先端 IT 技術教育に対応すべくタブレットを整備する。
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの第二波、第三波に向け、オンライン授業の更なる必要性を感じます。オンライン発表会など非対面の機会をより多くし、その対策が今後の学生募集のポイントのひとつにもなってくると思われまます。 ・防災にはパンデミックも含まれます。その対策は十分でしょうか。 ・学生も学校に対し、最新設備を期待している点に、限られた状況で対応していることが良いと思います。
<p>学校関係者評価 平均 4.0</p>

(6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4
6-2	募集要項の内容は適切か	4
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	4
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	4
<p>学校自己評価 平均 4.0</p>		
<p><u>成果と課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門学校他校と比して、入学案内・募集要項等の内容に不足等は無く適切である。 ・学生募集活動に当たっては、虚偽・過剰なことの無いよう事実に基づいた情報提供と対応を実施している。教育成果についても、日々正確な情報の蓄積に努め、誤った情報が伝達されないよう厳正に対応している。 ・入学者は、入学定員215名に対し、266名となった。8学科中7学科については学科定員を達成し、医療事務科は未達となったが、昨年度より8名増員した。 		
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体の定員充足は勿論、全学科の定員充足を目指し、募集活動上の対策を講じる。 		
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は更に、より専門分野に精通した学生を求められる時代になります。今までの常識が常識でなくなる時代に、 		

どのような学生を社会に送り出すことが出来るかを、募集の段階で明確にしておくことがポイントとなります。

学校関係者評価 平均 4.0

(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的に実施しているか	4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	4
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
7-7	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	4
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
7-9	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	4
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
7-19	自己評価結果を公開しているか	4
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	4
学校自己評価 平均		4.0

成果と課題

- ・学校法人全体を統括する理事会・評議員会は年3回、5月、9月と2月に定期的実施され、議事録は適切に作成管理されている。
- ・就業規則などの諸規程は整備されている。一部抜粋は規程集として全職員に配布され、また全ての規程集については電子化されており、教職員がパソコンの画面で自由に閲覧できるよう整備されている。
- ・組織間の連携は、校長ミーティング及び3つの分科会（進路、教育、広報）と中期計画策定委員会を中心に十分な連絡会議が持たれている。
- ・例年実施されている防災訓練の実施方法をより非常時に近い環境で実施できるように、常勤職員だけでなく、非常勤講師も含めたより実践的な避難シミュレーションを行った上で実施した（9月）。
- ・セクシャルハラスメントのみではなく広くハラスメント全般に対応するようハラスメント委員会を設け、委員名や連絡方法、またハラスメントへの対応等を明記した文書を校舎内廊下に掲示している。
- ・情報セキュリティ委員を選任し、情報の持ち出しに対しては管理記録簿により管理している。

<ul style="list-style-type: none"> ・学園の財務情報はホームページ上に公開され常時閲覧可能である。財務分析比率は適切な数値となっている。 	
<u>学校関係者 評価コメント</u> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態の際に、教職員の方との連絡、学生への連絡など、よりスムーズに行えるかどうか、であります。一日先がわからない状況の中、不安を与えない形が求められます。 	
学校関係者評価 平均	4.0

(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	4
学校自己評価 平均		4.0
<u>成果と課題</u> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設を活用した、高校生の職業体験授業や技術体験授業、外部団体への施設貸し出しなどを随時受託している。 ・留学生の受入体制について留学生サポート教員を選任し、クラス担当とともに留学生のケアに努めている。 		
<u>学校関係者 評価コメント</u> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受け入れは、今後大変厳しいと思われます。 		
学校関係者評価 平均		4.0

以 上